

『働くことを軸とする安心社会  
～まもる・つなぐ・創り出す～』  
の実現を目指して！  
NO. 75  
2025年1月6日

# 連合西部 ニュース

いきいき

連合島根西部地域協議会  
〒697-0022  
島根県浜田市浅井町64-2  
TEL:0855-24-2055  
FAX:0855-24-2056  
○発行責任者 高平 淳一  
○編集責任者 堀江 元気



高平議長年頭あいさつ

みなさま明けましておめでとうございます。西部地域協議会の活動にご支援、ご協力いただき、幹事会を代表し厚く御礼申し上げます。

昨年は、元日より能登地方を中心とした大地震が発生する年明けとなりました。その後、9月に能登豪雨が被災地に追い打ちをかけるように甚大な被害をもたらせました。多くの尊い命が奪われ、また、被災された方々の多くがいまだに避難生活を強いられる現状に対し、人間の力ではいかんともし難い自然災害だからこそ、強い憤りとやるせなさを感じると共に、決して他人事ではないことを思い知らされました。加えて8月には日向灘を震源とした震度6弱の地震を起因として兼ねてより度々取りざたされてきた「南海トラフ地震」について気象庁から初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。1週間程で終了したものの、ついにその時が来るのかと全国に緊張が走り、そう遠くない内に現実を受け止める日が来ることを実感させられたものです。いつやっ

くるかわからない自然災害に、今一度減災・防災について改めて一人ひとりが意識することを心掛けることが大切であると感じさせられる年となりました。

さて、まもなく25春闘の時期がやってまいります。少子高齢化・人口減少に歯止めがかからない国内の構造的な問題が様々な問題を引き起こし、特に働き手の不足は深刻であり、合わせて社会保障費の増大などによる税負担、おまけに急激な物価高も相まって、働く私たちに大きな負担となり続けています。これらの課題に対してこの間、連合は賃上げの取り組みを強く進めてきました。この流れは今年も継続していきます。しかし、実際には実質賃金はマイナスが続いていけません。一方で、地域の社会的セーフティネットとも言える最低賃金は上昇傾向にあり、島根県内も昨年は962円といよいよ本年には1,000円が目前に迫ってまいりました。この金額を下回ることがないよう労組のチェック機能を十分に発揮しましょう。賃上げの流れを継続していくために来る25春闘の要求実現、そして「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、西部地協として取り組みを強化してまいります。

ここでこの1年間の西部地協の政治活動について振り返ってみたいと思います。

昨年暑夏の中、益田市長山本浩章氏を推薦候補として、

選挙闘争を展開しました。投票のその日まで選挙が行われるか不確かな状況が続く中、結果は無投票で見事4期目の当選を果たすことができました。ご支援いただいた関係者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。無投票の当選は、この間の山本市長の市政運営に対する一定の評価の表れであったとも言えます。

また、第50回衆議院議員選挙におきましては、準備期間が非常に限られた中、何とか島根2区に大塚さとこさんを推薦候補者として擁立することができ、各構成組織の皆様には大変お世話になりました。結果はご案内の通りでございますが、連合島根が10月11日に推薦を決定し

根が10月11日に推薦を決定し、公示日までわずか4日、それから選挙戦を戦って行くには極めて短期間であり、候補者の氏名を組合員や有権者に浸透させることは、世の中が自民党の「政治とカネ」の問題の余韻が残り

守王国と言われる島根県において、それは決して容易ではありませんでした。しかし、結果おおよそ5万票を獲得し、広く大塚さとこさんの政治に対する姿勢を市民のみなさんに知っていただ

いたことは大きな成果として次につながる選挙戦であったと言



えます。この選挙戦をしっかりと振り返り、今後の国政選挙に反映していきたいと考えます。

そして本年は7月に参議院議員選挙の本番を迎える年となります。合区の選挙区において連合推薦候補者は現在未確定ですが、

昨年の衆議院議員選挙同様、推薦候補者の擁立が決定次第、連合の選挙対応方針に則り、速やかに態勢を整え、効果的な取り組みを進めて行きたいと考えています。合

わけて、比例区においては各産別とも抱える組織内候補については既に準備を進めていると思いつが、当選に向けた取り組みを最後まで全力で進めていただきたい

と強く思っています。

一方地方選挙につきましては、本年も重点的に取り組む選挙が控えています。連合島根が推薦する浜田市の久保田市長については、10月に任期満了となることから次の市長選挙への立候補について正式な表明に至ってはおりませんが、前回の選挙戦では僅差での当選、また前回開票と同じ候補者が既に出馬表明をしており、厳しい選挙戦が予想されま

す。今後の動向に注視しつつ、かかるべき対応を図っていく必要があると考えます。また、同時期に浜田市議選も任期満了となることから、連合が推薦する候補者の勝利に向け、浜田地区会議を中心に準備を進めてまいりたいと思

います。

二〇二五年（令和七年）一月一日

連合島根西部地域協議会 議長 高平 淳一

治体における推薦候補者の模索への取り組み、また、各級選挙を団結力の向上、組織力の強化の機会と捉えていただき、組合員の皆さんの積極的な参加協力を

結びに、本年は「巳年」であり、干支は「乙巳（きのとみ）」に当たります。意味合いは「きの」とは、木のような植物の成長に例えると、種子の殻を突き破り、芽

を出す状態を意味する一方で、その生命力の強さから「再生」「復活」「長寿」を象徴し縁起の良い生き物とされています。このことから「乙巳」は再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年になると考えられます。

西部地協も地協再編から2年目となり更なる発展を期し、この「乙巳」にあやかり柔軟な発想と失敗を恐れず、果敢に新たな活動にも挑戦していきたいと思



# 西部地協第9回委員会開催

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう  
仲間の輪を広げ安心社会をめざす！



西部地協は、11月23日(土)浜田市の「浜田ニューキャッスルホテル」において、幹事会役員、代議員、特別代議員など総勢56名の参加のもと第9回委員会を開催した。

委員会議長には、自治労浜田市職労の上野代議員を選出し議事が進められた。冒頭、幹事会を代表し高平議長が挨拶に立ち、「地域に根ざした顔の見える運動」の継続と時代に合わせた活動の修正や新たな活動の在り方について課題を共有していきたいと述べ、25春闘に向けて・益田市長選挙並びに第50回衆議院議員選挙の取り組みについて挨拶を受けた。

来賓には、連合島根から景山誠事務局長をはじめ連合推薦議員8名にお越しいただき、代表して景山事務局長と須山県議からそれぞれ

れ挨拶を受けた。

続いて幹事会より2024年度活動報告、会計報告及び監査報告を受け、採決の後2025年度運動方針(案)、一般会計収支剰余金処分(案)2025年度予算(案)について提起されたのち全会一致で承認され、運動方針と予算について決定された。最後に高平議長の団結ガンバローで委員会を締めくくった。

西部地協は各地区会議と連携を図り、今年度も全ての構成組織の主体的参加で運動を進めていく。



## 地域に根ざした顔の見える運動の実践！社会貢献活動を実施

西部地協は、「地域に根ざした顔の見える運動」の実践を通じた地域活性化を目的に、各地区会議において地区労福協と連携し地域課題や住民ニーズに対する社会貢献活動を、今年も12月第1週の日曜日を中心に実施した。

今年も関係施設などから、大変好評でお礼のあいさつやお言葉も寄せられている。各地区の実施内容は下記の通り



地区名	日時	場所	実施内容	人数
邑智地区	11月16日(土) 9:00~11:00	石見さくら会 「桃源の家」	居室等の窓ふき	30名
江津地区	11月30日(土) 8:30~10:00	NPO法人 「石見の家」	施設回り清掃・窓ふきなど	25名
浜田地区	12月7日(日) 8:00~9:00	浜田市東公園	草刈、ゴミ拾い等周辺の環境整備	38名
益田・鹿足地区	12月7日(日) 10:00~11:30	「希望の里」	障がい者施設の窓拭き等の環境整備	25名



## 西部地協青年女性委員会

### 交流レクリエーション開催

西部地協青年女性委員会は11月30日(土)、浜田市「ボウルJAC」において8月30日に台風の影響で中止となった夏季レク研修会の代替で交流レクリエーションを開催した。当日は、各地区から青年女性組合員20名が集まり、美川青女委員長の挨拶の後、各レーンに分かれ自己紹介を行いボウリングがスタートした。初めこそ距離感があったがストライクが出るや拍手やハイタッチが自然に行われ終始和やかなムードで交流を深めることができた。コロナ禍で思うような活動ができなかったこともあり、この交流会を機会に青年女性委員会の産別・単組をこえた活発な活動を期待する。

